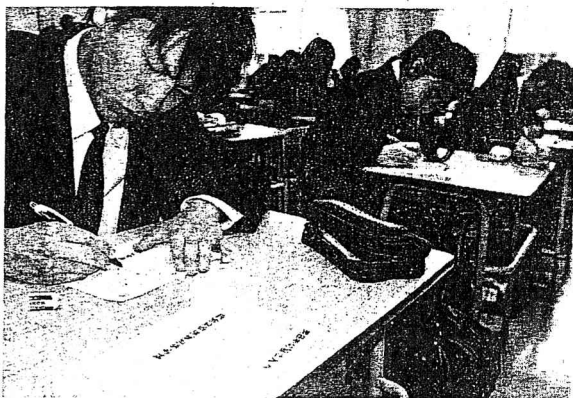


心を込めて応援メッセージ

黒瀬高生ら 大槌町の子どもたちにカード作製



メッセージカードにメッセージを書き込む黒瀬高校の生徒たち—東広島市

を一文字ずつ心を込めて書き込んでいた。

大槌高を訪問する黒瀬高2年、深尾慧也さん(16)は「震災直後に行った募金活動で大勢の人たちの優しさを知った。東北地方からは遠いけど、みんなが応援していることを被災地の人たちに伝えたい」と話している。

被災地の子どもたちを応援しようと、県立黒瀬高校(東広島市)の生徒たちが8日、岩手県大槌町の県立大槌高校や小・中学校の児童、生徒に贈るメッセージカードを作製した。

広島県内の全公立高校と特別支援学校が連携して集めた学用品を、国際医療援助団体「AMDA」(本部・岡山市)の協力で大槌高や周辺の小・中学校に届ける支援プロジェクトの一

環。黒瀬と県立福山誠之館(福山市)の2校が約1400人分のメッセージを書いた。15日に両校の生徒らが大槌高を訪問し、学用品に添えて贈られる予定。

黒瀬高では2、3年生約220人が1人2枚ずつメッセージカードを作った。「あなたは一人じゃない。負けずに頑張って」「辛い時かもしれないけど、笑顔をお忘れなさい」など、それぞれの思いや励ましの言葉